

「シニアテニス木曜会」のボランティア活動

1 いつの間にか 10年目に突入

「シニアテニス木曜会」サークルがスタートしてから10年目に入った。メンバー16人の平均年齢は73歳、最年長は81歳、一番若い人は52歳です。きっかけは枚方市のテニス協会がやっているクラブ「ST100」で“待ち時間が長い事、ダブルスで技術差が大きいパートナーには気を遣う”との話がでた。そこで気兼ねなくやれるメンバーを募ってやろうとなった。

すぐに同レベルの一般の仲間14人に声を掛け「木曜会クラブ」とネーミングした。(写真1)これをコマツ大阪の総務課に毎木曜日9:00～12:00 2面で承認をいただいた。この時、世話人代表を私がすることになった。



写真 1 木曜会の仲間たち

投稿者

2 長続きの秘訣は？

このサークルは明文化された規則はなく。参加者がその日のボール代100円を貯金箱に入れる事だけです。したがって定期会費はなし。

3 世話人の私がやることは簡単な3つの事

- ① 毎回練習ボール籠と組合せボード持参する事。
- ② 悪天候の時コートが使用できるかどうかの判断を8時50分までに全員に連絡すること。頻度は年に数回でLINEグループで一斉に連絡する。
- ③ ニューボールをまとめ買いする。(2ヶ月に1回)



写真 2 手作りの道具

4 使っている道具は以下の3つ

- ① 練習ボール用籠 (メンバーからの寄付)
- ② 組合せマグネットボードと磁石メンバーネームプレート (ボードは100円で調達 : 写真2)
- ③ 組合せ用くじ棒 (メンバーの手作り)

このサークルの長続きの秘訣はボール代の繰越金がたまると約2年に1度飲み会をすることです。また時々外部の同年配のグループと他流試合をしてリフレッシュをしています。

最後に、コマツのコートを無料で使わせて頂いている事と仲の良いメンバーに恵まれた事に感謝し、これからも代表世話人を続けていきたいと決意しています。



写真 3 他流試合後の表彰式

投稿 OB会員 金子友義